

目次

1章	前提：「看取り」も「死」もプロセスである……………	1
	【前提Ⅰ：「看取り」はプロセスである】	
	【前提Ⅱ：死はあいまいなものである】	
2章	死における希望と絶望……………	33
3章	ACP, 「人生会議」と看取り……………	53
	【可能性Ⅰ：「人生会議」は意思決定ではなく、看取りのプロセスである】	
	【可能性Ⅱ：PECOで「人生会議」を眺めてみる】	
4章	死に希望や幸福を届ける看取り支援……………	83
	【パートⅠ. 医療モデルから生活モデルへ：包括ケアと多職種連携】	
	【パートⅡ. 多職種で提供する看取りの現状から将来へ向けて】	
5章	看取りの事例集……………	127
	＜医療依存度が高い中で生活に盲目になっていた医師＞ 岩浪 悟	
	＜訪問医の心に重くのしかかる家族からのありがとうの言葉＞ 進谷憲亮	
	＜もう治らない、死ぬとは絶対にいわないでください＞ 織原 梓	
	＜死に目に会えなくてもいいんですよ＞ 平沼仁実	
	＜まだ生きているか、しぶといやつだな＞ 名郷直樹	
	＜私が到着するまで心臓マッサージをお願いします＞ 名郷直樹	
	＜救急車中で亡くなる末期がん患者＞ 名郷直樹	
6章	死をことほぐ……………	161